

平成29年
加古川市政

5大ニュース



GOODな魅力がぐうっ♡と！ 詰まった映画「36.8℃ サンジュウロクドハチブ」(11月)

市民に市の魅力を感じ、愛着を深めてもらうため取り組んだ映画制作プロジェクト。「市の魅力×高校生×食」をテーマにした映画には、2,800人以上が来場しました。安田真奈監督による演技ワークショップやオーディションに始まり、キャストやエキストラでの出演、撮影協力、高校生応援隊、宣伝活動など、多くの市民が参加しました。

見守りカメラ・見守りサービスで安全安心なまちへ！(10月)

安全で安心なまちづくりを進めるため、約1,500台の「見守りカメラ」設置が始まりました。小学校の通学路や学校周辺などに設置することで、子どもの安全を確保し、通学時や外出時の不安を取り除きます。平成30年1月からは、見守りタグを持った家族の位置情報をアプリやメールで確認できる「見守りサービス」が始まります。



「かがわ将棋プラザ」がオープン(5月)

「棋士のまち加古川」を広く発信し、将棋文化に触れる機会や交流を図るための拠点施設としてオープンしました。展示・交流スペースを設け、市ゆかりのプロ棋士の色紙・扇子などを展示するほか、プロ棋士による将棋教室も開催。また「将棋を活かした健康づくり事業」として、心理学の手法を用いて日常のストレスを軽減するプログラムを研究しています。

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちへ総合福祉会館リニューアル(9月)

老朽化していた施設を改修し、高齢者、子ども、障がい者、すべての人にとって利用しやすい施設となりました。また、障がいのある人やその家族などの相談支援の拠点として、新しく「障がい者基幹相談支援センター」を設置。社会福祉士や精神保健福祉士などの専門資格を持った職員が、さまざまな相談支援や制度の案内を総合的に行っています。



新・ご当地グルメ「加古川ギュッとメシ」誕生！(2月)

観光実態調査で明らかになった「昼食を伴わない日帰り客が多い」という課題を解決するため、新ご当地グルメの開発に取り組みました。平成28年8月から飲食店経営者やまちづくりに興味のある市民が集い、6回のワークショップを重ねて誕生。当初は9店舗での提供でしたが、個性豊かなメニューが加わり、現在では14店舗に。地元愛がギュギュッと詰まっています。